

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース(※)の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校で一年間を過ごす研修。研修期間中の概ね半分は自治大学校の実務に従事、半分は通常の研修(第1部課程等)を履修することによって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

4月から始まった自治大学校での日々はとても充実しています。そのおかげで、2か月で体重を5kg増量することに成功してしまいました。

今回、この自治大学校での仕事や生活についてつぶやこうと思います。

○仕事○

わたしの仕事は、1年間のうち前半は自治大学校の実務に従事し、後半は通常の研修を受講します。

現在の業務内容としては、研修生が受講するeラーニングシステムの管理や行政が直面する様々な課題に対する研究などがあります。

特に、研究活動は普段の自治体の仕事ではなかなか経験できないため、大変貴重な財産となっています。

また、他のマネジメントコース研修生や総務省の職員の方と業務を行うことも大いに学びがあります。彼らの深い見識に日々感銘を受け、自分ももっと頑張らなければと気持ちが引き締まります。

○生活○

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類となったこともあり、研修生同士の交流はとても活発です。特に、研修生が集う談話室では、研修生の地元のお酒やお菓子が並び、それらを味わうのが楽しみの1つになっています。ダイエット中には試練ですが、仕方がありません。

しかし、体重が増えてしまっても、自治大学校にはジムやグラウンドがあり、研修生たちは朝や夕方にトレーニングや運動を楽しんでいます。わたしも一度、朝、カーテンを開けたら、グラウンドで運動している研修生と目が合って驚いたこともあります。

週末には、都内の観光やグルメツアーに行ったり部屋でリラックスしたりする時間もあります。自治大学校の近くには大きな商業施設もありますので、ショッピングも楽しめます。

この素晴らしい環境に感謝し、日々の業務に取り組みつつ適度に息抜きも忘れずに、1年間を最大限に楽しもうと思います。「充実した1年間だったな。」と振り返ることができるよう、これからも精進していきます。

(N. S)

高尾山の山頂で撮った写真

